

アドミッションポリシー 次のような入学生を求めています。

ひと・まち未来共創学環における分野横断・文理融合的な学修に必要な基本的な学力がある人

課題の探究に取り組んだ経験があり、そのための基本的な思考力・判断力・表現力を身に付けている人、あるいはそれらを身に付ける意欲がある人

ひとやまちの未来を踏まえ、他者と協働して、地域課題を見出し解決しようとする意欲がある人

学環での学びを通して身に付くスキル、知識や実践的な力

課題解決にむけた企画・立案力

デジタル技術・AI技術を活かした提案力

コミュニケーション能力

DXを実践できる知識

地域・コミュニティに対する分析力

人間の心理・行動に対する深い理解力

自ら課題を抽出できる力

他者と協働する力

物事を俯瞰的に捉え柔軟に思考する力

ビジネスの視点を含む地域社会の仕組み等に対する理解力

学環の卒業生は、様々な分野での活躍が期待できます。

卒業後の進路

- 民間企業：事業企画、マーケティング、人材戦略、働き方改革推進の仕事など
- 官公庁：統計分析やそれに基づく政策立案の仕事、心理専門職など
- 団体等：NPO法人での地域活性化に関わる仕事など
- 大学院：山口大学大学院などへの進学

基本情報 募集人員：40名 / 取得学位：学士（学術）
キャンパス：吉田キャンパス（山口市）

入試情報 学校推薦型選抜I（大学入学共通テストを課さない）
／ 一般選抜（前期日程・後期日程）
文系・理系どちらの学生も受験可能

最新情報は
山口大学ホームページを
ご確認ください。
<https://www.yamaguchi-u.ac.jp>



アクセス



山口大学 吉田キャンパス

山口市吉田1677-1

- 人文学部 ● 教育学部 ● 経済学部 ● 理学部
- 農学部 ● 共同獣医学部 ● 国際総合科学部
- **ひと・まち未来共創学環**

〔徒歩〕

▶ JR「湯田温泉」駅から約25分

〔バス〕

- ▶ JR山口線「湯田温泉」駅
「JR湯田温泉駅入口」バス停から
JRバス 山口大学行「山口大学」バス停下車
- ▶ JR「新山口」駅北口（在来線口）から
防長バス 県庁前（平川経由）行「山口大学前」バス停下車
徒歩約3分

〔自動車〕

- ▶ JR「新山口」駅から車で約30分
- ▶ 湯田温泉スマートインターチェンジから車で11分



ひと・まち 未来共創学環 2025 Start



2025年4月 山口大学に新しく 「ひと・まち未来共創学環」が誕生します。

地域（地方）には、少子高齢化や過疎化、人と人とのつながり（コミュニティ）の希薄化など様々な課題があります。これらをデジタル技術によって直接的に解決しようとする取り組みは多く見られますが、本来は、その前に地域課題を適切に見定める必要があります。心の豊かさを含む一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさを意味する「ウェルビーイング」は、このために有効な考え方と言えます。

このウェルビーイングの考え方に立ち、デジタル技術者と協力してDX（デジタル・トランスフォーメーション）を実践し、ひとや地域の課題を解決して、明るい未来につながる新たな価値を創造できる人材（ひとや地域のウェルビーイングに貢献する「文系DX人材」）が、今求められています。

養成する人材像

ひとや地域のウェルビーイングに貢献する「文系DX人材」の養成

人間の心理・行動や地域・コミュニティに対する深い理解力及び数理的素養を含む分析力を基礎として、心の豊かさやまちの豊かさの観点から、ひとや地域の課題を見出し、その課題の解決のためにデジタル技術やAI技術などを活かすプロセスを提示でき、ひと・まち（コミュニティ）を起点とした新たな価値創出につなげることができる人材を養成します。

文系DX人材とは？

ひとや地域の課題の解決のためにデジタル技術やAI技術を活かす方法を身に付け、デジタル技術者と協力してDXを実践し、新たな価値創出につなげることができる人材のこと

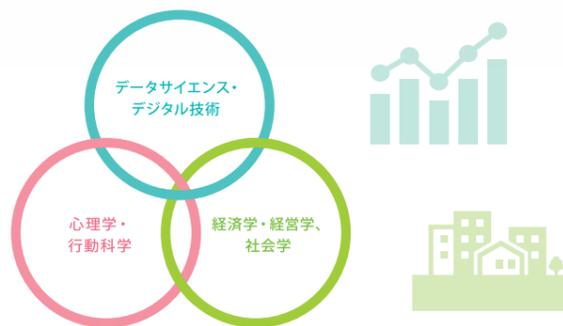
教育の特色

1 共通して学ぶ3つの分野

心理学・行動科学

経済学・経営学、社会学

データサイエンス・デジタル技術



2 複数学部の協力による分野横断・文理融合的な学修

ひと・まち未来共創学環では、山口大学の複数の学部等の様々な専門分野の教員による、分野横断・文理融合的な教育を行います。学部と同じように、卒業時には「学士（学術）」の学位が授与されます。

4 課題を発見し、解決する方法を実践的に学ぶカリキュラム

1年次から地域課題を意識して学び、3年次には全員が通年で「DXによる地域課題解決（PBL）」に取り組むことで、大学での学びを実際の地域課題の発見・解決に活かす実践的な学修を行います。この経験を基に4年次では地域課題の解決や新たな価値創出に資する研究テーマを設定し、卒業研究としてまとめます。

3 入学後に選択できる2つのプログラム

ひと・まち共創心理系プログラム

ひと・まち共創社会系プログラム

「心理・行動科学、経済学・経営学、社会学、データサイエンス、デジタル・AI技術活用力」の基礎を学環基盤科目により全員が身につけた上で、さらに「心の豊かさ」「社会（まち）の豊かさ」それぞれの視点に重きを置いた心理系、社会系プログラムのいずれかを選択し、専門的な学びを深めます。

5 充実した修学支援体制

1年次からチューター（修学支援教員）による担任制を実施し、学生一人ひとりの興味関心、解決したい課題、希望する進路に沿った修学指導を行います。

カリキュラム 学びの内容

	1年次	2年次	3年次	4年次
〈課題解決・実践〉	集大成	課題解決科目	研究演習	卒業研究（地域課題研究）
〈課題と向きあう〉		DXによる地域課題解決（PBL）入門 プロジェクトマネジメント論	DXによる地域課題解決（PBL）I・II 実習実施場所 <企業、自治体、NPO 法人 など>	
		地域社会の課題を発見、価値創造につなげる		
		理論と実践の往還		
〈理論・知識〉	より深く学ぶ	プログラム専門科目	ひと・まち共創心理系プログラム ^{※1} <ひとやコミュニティにおける心理や行動の視点に重きを置く> 心理・行動科学系 発達心理学 感情・人格心理学 心理的アセスメント 学習・言語心理学 臨床心理学概論 精神保健学 等	ひと・まち共創社会系プログラム <自治体や企業活動の視点に重きを置く> 社会科学系 経済学・経営学系 社会学系 地域経済論 地域企業経営論 等 現代社会学概論 現代社会学特殊講義 等
	共通で学ぶ	学環基盤科目	汎用的能力 統計学概論・演習 データサイエンス概論・演習	心理学的支援法 人工知能概論・演習 デザイン思考論 DX概論 等
		共通教育科目	知識・理解 ウェルビーイング学 人間行動科学入門（心理学概論） 社会心理学（社会・集団・家族心理学）	地域学 コミュニティデザイン論 社会学概論・社会調査法 等
			知的財産入門 データ科学と社会 山口と世界 人間の発達と育成 等	

Pick UP! 開設授業

DX概論

2年次・必修科目

DX（デジタル・トランスフォーメーション）は、私たちの身近にあるデータやデジタル技術を活用し、企業や社会のしくみを大きく変えることで新たな価値を創出する取り組みです。この授業ではDXの目的や重要性などを理解するとともに、企業や自治体によるDXの具体的な事例を知ることで、今、私たちがDXに取り組む意義を学びます。

社会心理学（社会・集団・家族心理学）

2年次・必修科目

社会心理学は、人の行動や思考の特徴を科学的に探究する心理学の1つの分野です。「人を好きになる」「助け合う」「対立する」といった日常的な現象の背景にある要因を、実験や調査、観察といった手法を通じて明らかにします。この授業では、社会心理学の代表的な研究を具体例とともに学ぶことで、私たちの行動や思考の特徴について理解を深めます。

ひと、まちの未来は
ここから始まる。



山口大
YAMAGUCHI UNI

共通して学ぶ3つの分野

心理・
行動科学

経済学・経営学
社会学

データ
サイエンス・
デジタル技術

ひと・まち未来共創学環

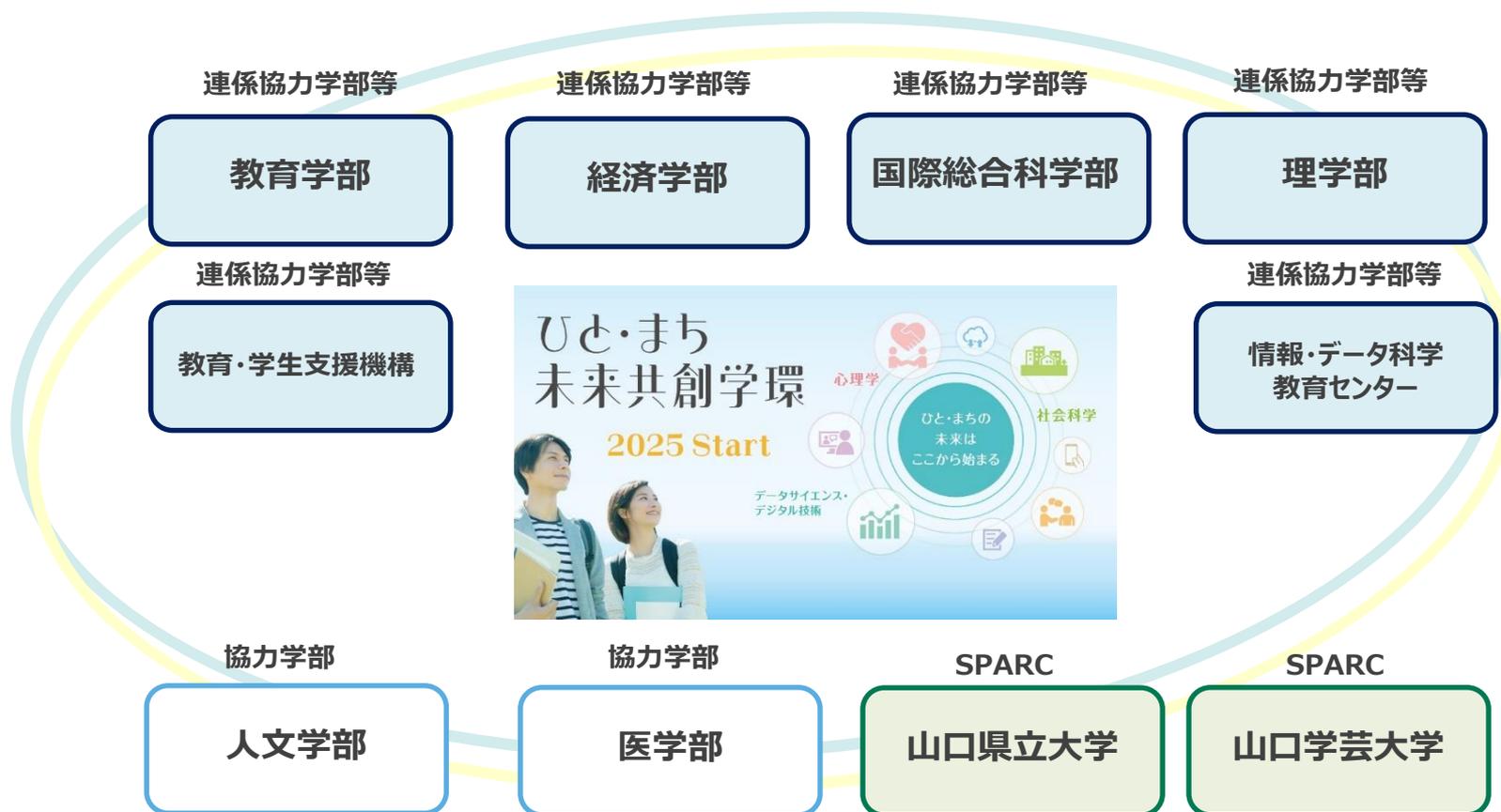


令和7年3月25日



学環とは？

大学設置基準等に定められている「学部等連係課程制度」を利用し、**総合大学である山口大学の強み・特色を活かした分野横断・文理融合的な教育を実施する学士課程であり、学部相当の教育組織です。**
卒業時には「学士（学術）」の学位が授与されます。



目指す社会

- ◆ Society5.0の我が国が目指す社会とは、「一人ひとりの多様な幸せ (well-being)」が実現できる社会
- ◆ 新たな社会を支える人材育成については、「自ら課題を発見し解決手法を模索する、探究的な活動を通じて身につく能力・資質」が重要 (第6期科学技術・イノベーション基本計画引用)
- ◆ 2040年に必要とされる人材：専攻分野についての専門性を有するだけでなく、幅広い教養を身に付け、さらに新しい価値を創造しながら、様々な分野で多様性をもって活躍していること (2040年に向けた高等教育のグランドデザイン引用)

地域社会のニーズ・期待

<山口県の産業界>

- ◆ 大卒人材に期待する能力 **課題設定・解決能力** 86%
- ◆ 大卒人材に期待する知識 **文系・理系の枠を超えた知識・教養** 67%

大学リーグやまぐちに参画する経済団体を経由し、山口県内企業に対してアンケートを実施した結果 (回答数221件)

<山口県・山口市>

デジタル化の推進

やまぐちデジタル改革基本方針 (山口県)

山口市スマートシティ推進ビジョン (山口市)

地域活性化に資する人材育成の方向性 (ヒアリングより)

- ◆ **地域課題 (ニーズ)** を把握し、その上でデジタル技術等を活用して解決に導くことのできる人材が必要
- ◆ デジタル技術のエキスパートに加えて、「**地域課題を見定め、デジタルの視点をもって解決へと導ける文系の人材の育成**」が望まれている

山口大学 ～発見し・はぐぐみ・かたちにする 知の広場～

<明日の山口大学ビジョン2030> 知の創造としなやかな人材の育成により地域に・世界に貢献する山口大学

教育ビジョン重点戦略1：地域社会や国際社会で活躍する人材の育成

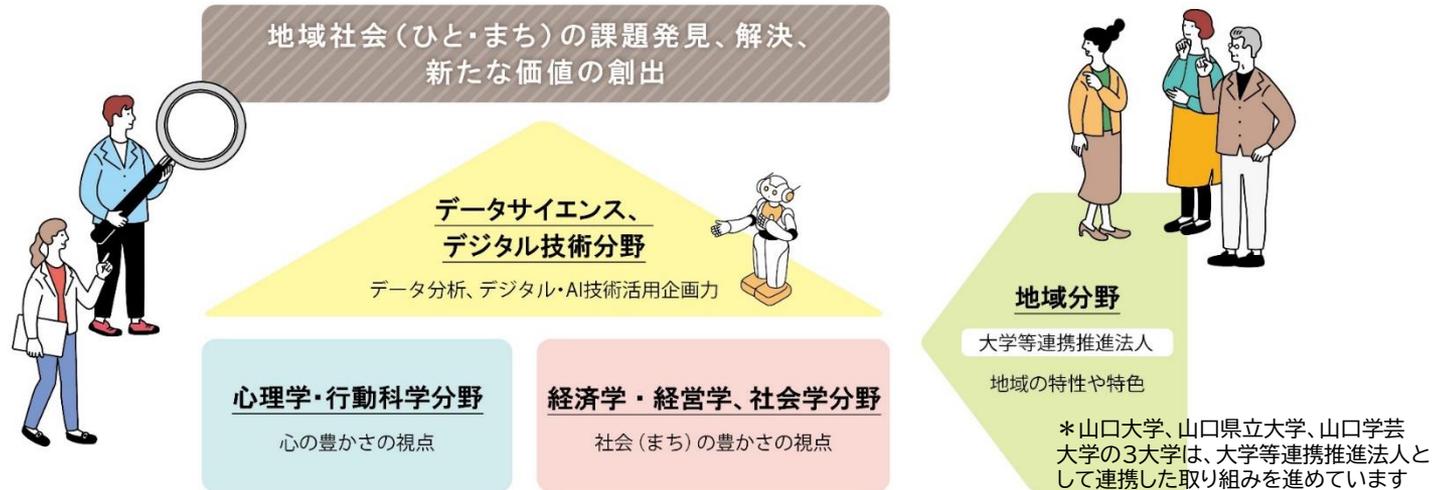
主要施策1：教養教育から専門教育まで一貫した学士課程教育の充実

既存の概念や学問領域の枠に捉われることなく、**学際的教育やDX教育を展開**し、柔軟な学士課程の教育の充実を図ります。

<文部科学省地域活性化人材育成事業 (SPARC) 採択> <データサイエンス科目全学必修>

ひとや地域のwell-beingに貢献する文系DX人材の育成

※ well-beingとは、心の豊かさを含む一人ひとりの多様な幸せと社会全体の豊かさを意味します



【養成する人材像】 課題解決型文系DX人材の育成

人間の心理・行動や地域・コミュニティに対する深い理解力及び数理的素養を含む分析力を基礎として、心の豊かさやまちの豊かさの観点から、ひとや地域の課題を見出し、その課題の解決のためにデジタル技術やAI技術などを活かすプロセスを提示でき、ひと・まち（コミュニティ）を起点とした新たな価値創出につなげることができる人材

活躍が期待できる進路

民間企業：事業企画、マーケティング、人材戦略、働き方改革推進の仕事など
 公務員：統計分析やそれに基づく政策立案の仕事、心理専門職など
 団体等：NPO法人での地域活性化に関わる仕事など
 大学院：山口大学大学院など

ひと・まち未来共創学環のカリキュラムの特色

1

共通して学ぶ3つの分野

心理学・
行動科学

×

経済学・経営学
社会学

×

データサイエンス
デジタル技術

人間の心や行動、ビジネスを含め地域社会についての深い理解と、データサイエンスの知識、デジタル・AI技術活用力を強化する分野横断・文理融合的な学びにより、地域課題の発見や解決のための力を身に付けます。

2

各学部の専門性を活かした分野横断・文理融合的な教育

教育学部、経済学部、理学部、国際総合科学部、情報・データ科学教育センター、教育・学生支援機構などから様々な分野を専門とする教員が集まり、学部等が連係して（学環:学部相当の組織として）、分野横断・文理融合的な教育を展開します。

3

入学後に選択できる2つのプログラム制

ひと・まち共創心理系プログラム

ひと・まち共創社会系プログラム

カリキュラムは、「ひと・まち共創心理系プログラム」、「ひと・まち共創社会系プログラム」の2つからなり、「心理・行動科学、経済学・経営学、社会学、データサイエンス、デジタル・AI技術活用力」の基礎を全員が身に付けた上で、それぞれ「心の豊かさ」、「社会（まち）の豊かさ」の視点から、より深く地域課題の発見と解決に取り組むために必要な力を育むことを目指します。

4

課題を発見し、解決する方法を実践的に学ぶカリキュラム

1年次から地域課題を意識して学び、3年次には全員が通年で「DXによる地域課題解決（PBL）」に取り組むことで、大学での学びを実際の地域課題の発見・解決に活かす実践的な学修を行います。

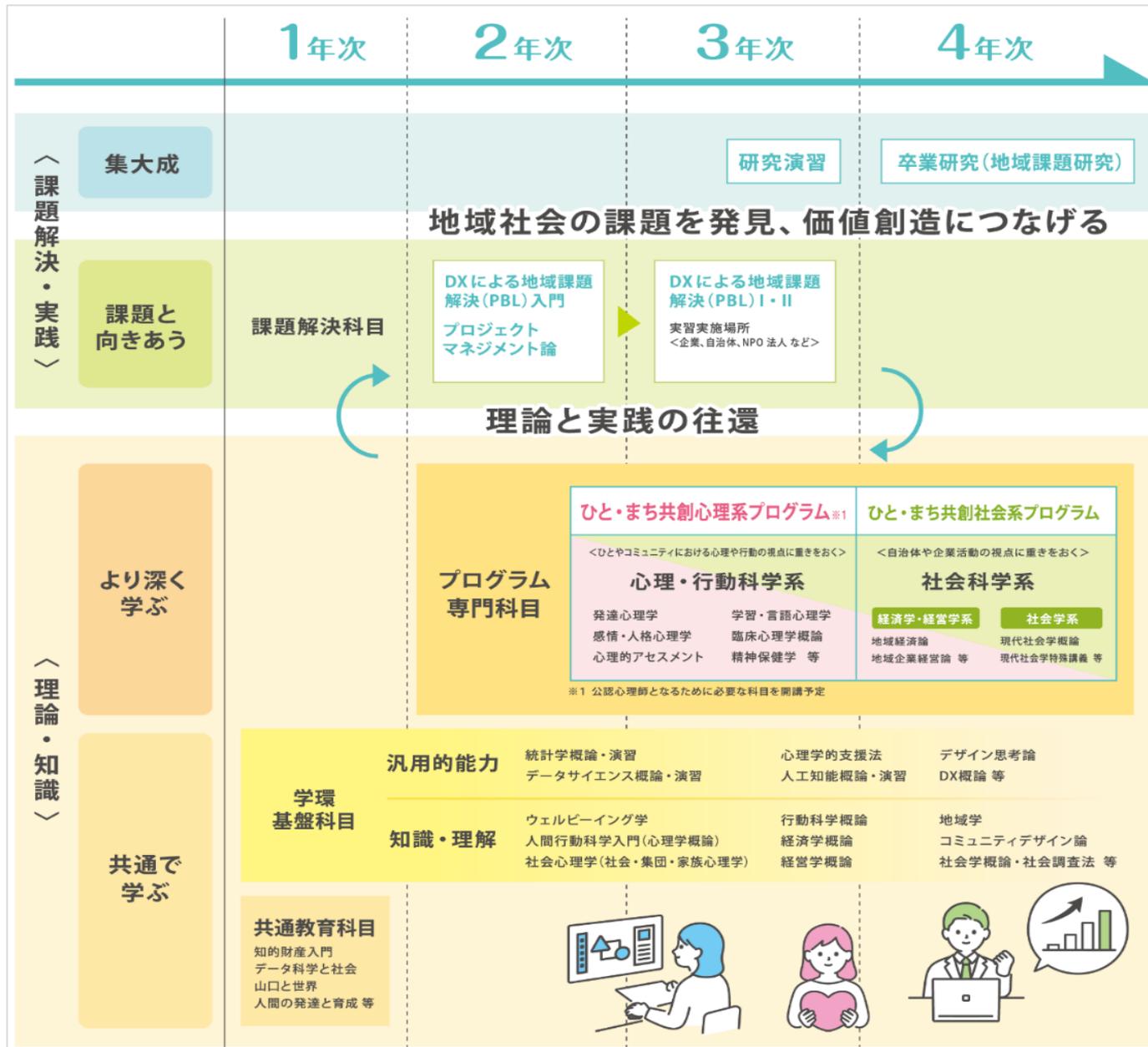
この経験を基に4年次では地域課題の解決や新たな価値創出に資する研究テーマを設定し、卒業研究としてまとめます。

5

チューターによる丁寧な修学支援

1年次からチューター（修学支援教員）による複数担任制を実施、学生一人ひとりの興味関心、解決したい課題、希望する進路に沿った修学指導を行います。

ひと・まち未来共創学環の学びのイメージ



ひと・まち未来共創学環 募集人員 **40名**

学校推薦型選抜

学校推薦型選抜Ⅰ
(大学入学共通テストを課さない)

8名

【R7志願倍率】

1.4倍
(11名)

一般選抜

前期日程	後期日程
24名	8名

【R7志願倍率】

3.3倍
(78名)

【R7志願倍率】

22.4倍
(179名)